

周年事業成功を期して

第31回城陽市文化芸術協会総会

城陽市文化芸術協会は、5月8日、文化パルク城陽ふれあいホールで令和4年度総会を開催。令和3年度の事業・決算報告、新年度の事業計画、予算を決定。任期満了を迎えた津守俊一会長を再任しました。

令和4年度は設立30周年、第60回市民文化祭を記念する周年事業を展開する年で、協会としては新理事に対し全面的な協力をお願いすることを伝えました。

会員の皆様が楽しみにしている日帰り旅行「親交会」は今年も実施しました。バスでのソーシャルディスタンス確保の関係から1人の経費が高くなるのが要因で、来年度は出来ることを願っております。

協会としては高齢化の中で、いかに組織を活性化していくのかをこの数年協議してきました。周年はひとつの節目であり、会員の意識が一つになる時でもあるので、コロナ禍の難しい社会情勢下においてあれども前向きな取り組みが期待されています。

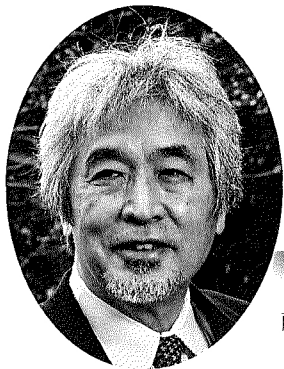
二足で歩く姿も不安定だし、泰然自若としたゴリラに比べて、落ち着きがありません。人間同士の関わり方も不自然に感じます。なせ、ゴリラの世界では、挨拶もなしに身体をくっつけ合っているなど、信じられないことです。身体を寄せ合ってきたときには、もう仲間として気持ちが通じ合っている状態ですから、そばにいて安心感があります。ところが、人間社会では電車でも駅のホームでも、みんな近くにいるのにまったく安心感が得られない。居心地が悪くてたまりません。・・・と、ゴリラの社会を研究する中で、逆に人間社会に視線を落としたはつとするような見解を述べておられます。

講演は城陽高校、西城陽高校生、市民大学受講者、一般の方も参加され、協会会員含めて整理券が必要です。整理券は協会事務局で配布しています。

人間にとって文化とは何か

7月13日 山極 壽一氏の講演会

当協会は設立30周年、第60回市民文化祭を記念する周年事業として、7月13日午後2時から文化パルク

前京都大学総長
山極 壽一氏

城陽プラムホールで京都大学前総長、山極壽一氏の講演会を開催しました。この記念行事は城陽市の市制施行50周年、令和4年度城陽市民大学特設講座を兼ねて開きます。

講演テーマは「人間にとって文化とは何か・ゴリラから見た人間社会」というものです。山極氏は「サルやゴリラの世界で長く生活して、人間の世界に戻ってくると、人間がなんだか不思議な生き物に見えてきました。」



ふれあいホールで開かれた総会で津守会長が挨拶

ユニセフ通じて子どもたちに

3協会がウクライナ支援の募金活動

文化芸術協会は、(一社)城陽市観光協会、城陽市国際交流協会とともに、アルプラザ城陽内で募金活動を実施しました。

3協会は合同で、今年3月28日、4月8日の2回、アルプラザ城陽内で募金活動を行いました。

各連盟、サークルの会員の皆さんが独自のイベントを企画した際には気軽に協会に対して後援申請をして下さい。

気軽に協会の

後援申請を

後援申請の用紙は事務局にありますし、ホームページからもダウンロードが可能です。役員会の承認が必要になりますので、申請はお早めに。

長い役員活動に感謝

退任役員を表彰

設立30周年を迎えた協会は5月の総会の席上で、長年役員として活躍していた

菊池さんは常任理事5期10年、理事3期6年の長期間、役員を歴任するとともに「市民文化祭煌めき舞台

フエスタ」の部長としてより、ダーシップを発揮して頂きました。

アルプラザ城陽で実施した活動



総会で役員に対して表彰状を贈呈

菊池さんは常任理事5期10年、理事3期6年の長期間、役員を歴任するとともに「市民文化祭煌めき舞台

令和4・5年度常任理事、理事及び監事役員体制

会長	津守 俊一	市原 敬介	中島 正晴
副会長	本城 隆志	船越 五郎	嶋田 昌子
会計	宇野 信子	西田 洋子	山内 智代
常任理事	金崎 恒臣	奥 鈴代	土谷 純一
	野崎 友紀	西 佐恵子	萩尾 育
	原 順和	長田 正	平林 由美
	水野 永子	鈴木 幹二	安田 吉孝
	村田 薫	鳥居 利光	篠原 啓彰
	人見 章夫	田所 笑子	大久保 雅由
専務理事	中村 蔵人	河合 力	
監事	奥田 正行		
	大喜多 剛		

順不同・敬称略

